

## 「ニュースリリース」

## 建設機械需要予測（2023年2月）

一般社団法人 日本建設機械工業会

1 概況

○2022年度については、国内は底堅く推移、輸出は大幅に増加し、2022年度通年の出荷金額は2兆8,499億円（前年度比13%増）と予測される。

○2023年度については、国内、輸出ともに続伸し、全体では3年連続の増加と予測。

全9機種が横這いもしくは増加し、2023年度通年の出荷金額は、過去最高の3兆580億円（前年度比7%増）と予測される。

2 国内・輸出別

## (1) 国内

○2022年度は、部品・部材の納入遅れが生じるものの、安定した公共投資に支えられ、微増と予測。

- ・上期は、建設用クレーンが前年同期比23%増加するなど7機種が横ばいもしくは増加し、4,149億円（前年同期比5%増加）となった。
- ・下期は、部品・部材の納入遅れが継続するものの、安定した公共投資に支えられ、5機種が増加となり、4,716億円（前年同期比±0%）と見込まれる。
- ・この結果、2022年度通年では、8,865億円（前年度比2%増加）となり、2年連続で増加と予測される。（前回昨年8月時の予測と比較して218億円上方修正となった。）

○2023年度は、安定した公共投資が継続し、続伸すると予測。

- ・上期は、7機種が増加となり、4,288億円（前年同期比3%増）と予測される。
- ・下期は、8機種が増加となり、4,862億円（前年同期比3%増）と予測される。
- ・この結果、2023年度通年では、9,150億円（前年度比3%増）となり、3年連続で増加と予測される。（前回昨年8月時の予測と比較して370億円上方修正となった。）

## (2) 輸出

○2022 年度は、国内同様、部品・部材の納入遅れやロシア・ウクライナ問題の影響もあるが、各国コロナ後の経済活動の活発化や為替が円安に振れたことから、続伸すると予測。

- ・ 上期は、最主力機種である油圧ショベルが前年同期比 20%増加するなど 8 機種が増加し、9,367 億円（前年同期比 20%増）となった。
- ・ 下期も、油圧ショベルが前年同期比 11%増加するなど 8 機種で増加し、1 兆 267 億円（前年同期比 16%増）と見込まれる。
- ・ この結果、2022 年度通年では、1 兆 9,634 億円（前年度比 18%増）となり、2 年連続で増加すると予測される。（前回昨年 8 月時の予測と比較して、2,087 億円上方修正となった。）

○2023 年度も、土工系機械を中心にさらに続伸すると予測。

- ・ 上期は、7 機種が増加となり、1 兆 728 億円（前年同期比 15%増）と予測。
- ・ 下期も、7 機種が増加となり、1 兆 702 億円（前年同期比 4%増）と予測。
- ・ この結果、2023 年度通年では、2 兆 1,430 億円（前年度比 9%増）となり、3 年連続の増加と予測される。（前回昨年 8 月時の予測と比較して 3,045 億円上方修正となった。）

### 【需要予測結果の概要】

		2022 年度			2023 年度		
		上期実績	下期予測	合計予測	上期予測	下期予測	合計予測
国内	金額（百万円）	414,894	471,600	886,494	428,800	486,200	915,000
	前年同期比（%）	105	100	102	103	103	103
	前回予測における前年同期比（%）	99	101	100	102	101	102
輸出	金額（百万円）	936,705	1,026,700	1,963,405	1,072,800	1,070,200	2,143,000
	前年同期比（%）	120	116	118	115	104	109
	前回予測における前年同期比（%）	107	104	105	106	103	105
合計	金額（百万円）	1,351,599	1,498,300	2,849,899	1,501,600	1,556,400	3,058,000
	前年同期比（%）	115	111	113	111	104	107
	前回予測における前年同期比（%）	104	103	103	105	103	104

注 補給部品は含みません。

本資料は、一般社団法人日本建設機械工業会（会長 本田 博人）が、本年 1 月時点で正会員である建設機械メーカ 62 社を対象に実施した需要予測結果を取りまとめたものです。予測期間とした 2022 年度下期と 2023 年度上下期の 3 期に関して、建設機械を 9 機種に区分し、国内出荷金額及び輸出金額をアンケート方式により予測調査をしたものであり、今回で 63 回目の調査となります。

## 建設機械需要予測

2023/2/22

一般社団法人日本建設機械工業会

2022年度予測

上段：金額 百万円

下段：対前年同期比指数 %

	上期実績			下期見込			年度予測		
	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計
トラクタ	47,646	125,117	172,763	64,800	139,200	204,000	112,446	264,317	376,763
	100	122	115	109	123	118	105	122	117
油圧ショベル	137,283	423,425	560,708	162,100	430,900	593,000	299,383	854,325	1,153,708
	100	120	115	97	111	107	98	116	111
ミニショベル	38,888	175,956	214,844	43,000	197,400	240,400	81,888	373,356	455,244
	94	112	109	95	114	110	95	113	109
建設用クレーン	91,179	37,601	128,780	96,100	51,800	147,900	187,279	89,401	276,680
	123	132	125	103	119	108	112	124	115
道路機械	18,166	19,926	38,092	19,300	20,100	39,400	37,466	40,026	77,492
	100	114	107	92	110	100	95	112	103
コンクリート機械	14,481	642	15,123	16,100	600	16,700	30,581	1,242	31,823
	89	127	90	99	103	99	94	115	95
基礎機械	18,292	1,847	20,139	19,100	2,400	21,500	37,392	4,247	41,639
	113	91	110	104	90	102	108	91	106
油圧ブレーカ	11,989	5,824	17,813	12,600	6,000	18,600	24,589	11,824	36,413
油圧圧砕機	114	120	116	104	111	106	109	116	111
その他建設機械	36,970	146,367	183,337	38,500	178,300	216,800	75,470	324,667	400,137
	110	124	120	102	129	123	106	126	122
合計	414,894	936,705	1,351,599	471,600	1,026,700	1,498,300	886,494	1,963,405	2,849,899
	105	120	115	100	116	111	102	118	113

## 建設機械需要予測

2023/2/22

一般社団法人日本建設機械工業会

2023年度予測

上段：金額 百万円

下段：対前年同期比指数 %

	上期予測			下期予測			年度予測		
	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計
トラクタ	51,500	156,400	207,900	68,700	150,300	219,000	120,200	306,700	426,900
	108	125	120	106	108	107	107	116	113
油圧ショベル	141,400	453,100	594,500	165,300	439,500	604,800	306,700	892,600	1,199,300
	103	107	106	102	102	102	102	104	104
ミニショベル	40,400	195,300	235,700	46,400	199,400	245,800	86,800	394,700	481,500
	104	111	110	108	101	102	106	106	106
建設用クレーン	93,900	43,200	137,100	98,000	54,900	152,900	191,900	98,100	290,000
	103	115	106	102	106	103	102	110	105
道路機械	19,400	18,900	38,300	20,300	21,300	41,600	39,700	40,200	79,900
	107	95	101	105	106	106	106	100	103
コンクリート機械	14,300	700	15,000	16,600	700	17,300	30,900	1,400	32,300
	99	109	99	103	109	104	101	113	101
基礎機械	18,100	1,700	19,800	19,700	2,200	21,900	37,800	3,900	41,700
	99	93	98	103	93	102	101	92	100
油圧ブレーカ	12,500	5,900	18,400	13,100	5,800	18,900	25,600	11,700	37,300
油圧圧砕機	104	101	103	104	97	102	104	99	102
その他建設機械	37,300	197,600	234,900	38,100	196,100	234,200	75,400	393,700	469,100
	101	135	128	99	110	108	100	121	117
合計	428,800	1,072,800	1,501,600	486,200	1,070,200	1,556,400	915,000	2,143,000	3,058,000
	103	115	111	103	104	104	103	109	107



# 一般社団法人 日本建設機械工業会 会長記者会見

## — 建設機械需要予測(2023年2月公表分)—

2023年2月22日  
会長 本田博人

### ●記者会見次第

- |         |                  |             |
|---------|------------------|-------------|
| 1. 開 会  | : 石田広報部会長        | 11:00       |
| 2. 報 告  | : 本田会長           | 11:05~11:30 |
|         | ・建設機械需要予測(出荷ベース) |             |
| 3. 質疑応答 |                  | 11:30~11:55 |
| 4. 閉 会  | : 石田広報部会長        | 11:55       |

### 【需要予測の概要】



- ・毎年度8月、2月に公表。今回で63回目。
- ・調査対象: 建機工正会員である建設機械メーカー62社
- ・調査時点: 2023年1月
- ・調査対象期間: 2022年度下期と2023年度上下期の3期
- ・対象機種: 9機種(トラクタ、油圧ショベル、ミニショベル、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ・油圧圧碎機、その他建設機械)

(次回は2023年8月3日(木)に公表予定)

## 1. 2022、23年度の需要予測

### (1) 出荷金額ベース

- ①年度比較
- ②半期比較
- ③機種別推移(補給部品を含む)
- ④国内・輸出別推移

### (2) 台数ベース

- ①油圧ショベル
- ②ミニショベル

## 2. 会員の見方

### (1) 国内需要予測の背景

- ①公共投資
- ②民間設備投資
- ③住宅投資

### (2) 海外需要予測の背景

- ①北米市場の動向
- ②欧州市場の動向
- ③中国を除くアジア市場動向  
(含むオセアニア)
- ④中国市場の動向

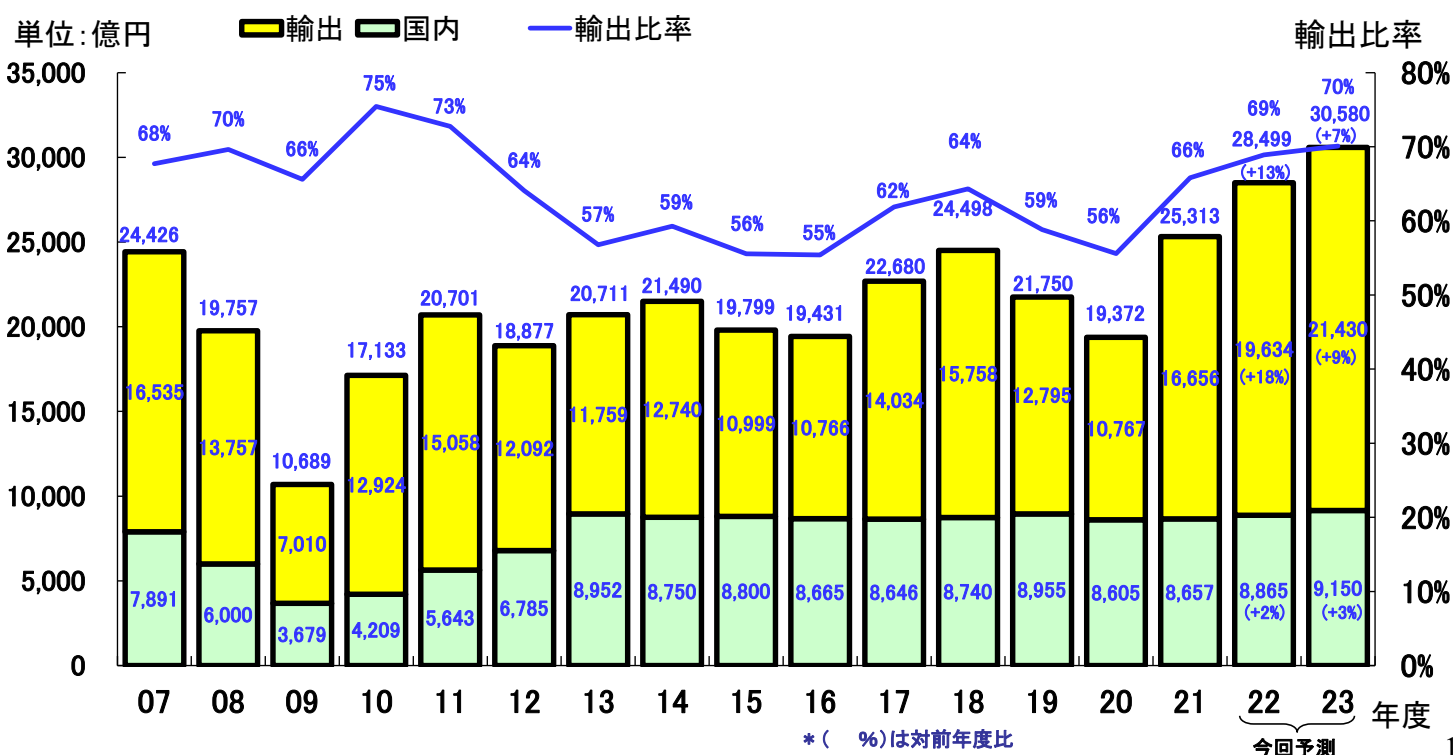
### 【参考数値】仕向先出荷金額

- ①構成比推移: 2007~2021年
- ②構成比推移: 2022年4-12月
- ③2007年度を100とする指数の推移

## 1. 2022、23年度の需要予測(1) 出荷金額ベース

### ①年度比較

○22年度は国内は底堅く推移、輸出は大幅に増加し2兆8,499億円(13%増)と予測。  
○23年度は国内、輸出とも続伸し、22年度を超えて過去最高の3兆580億円(7%増)と予測。



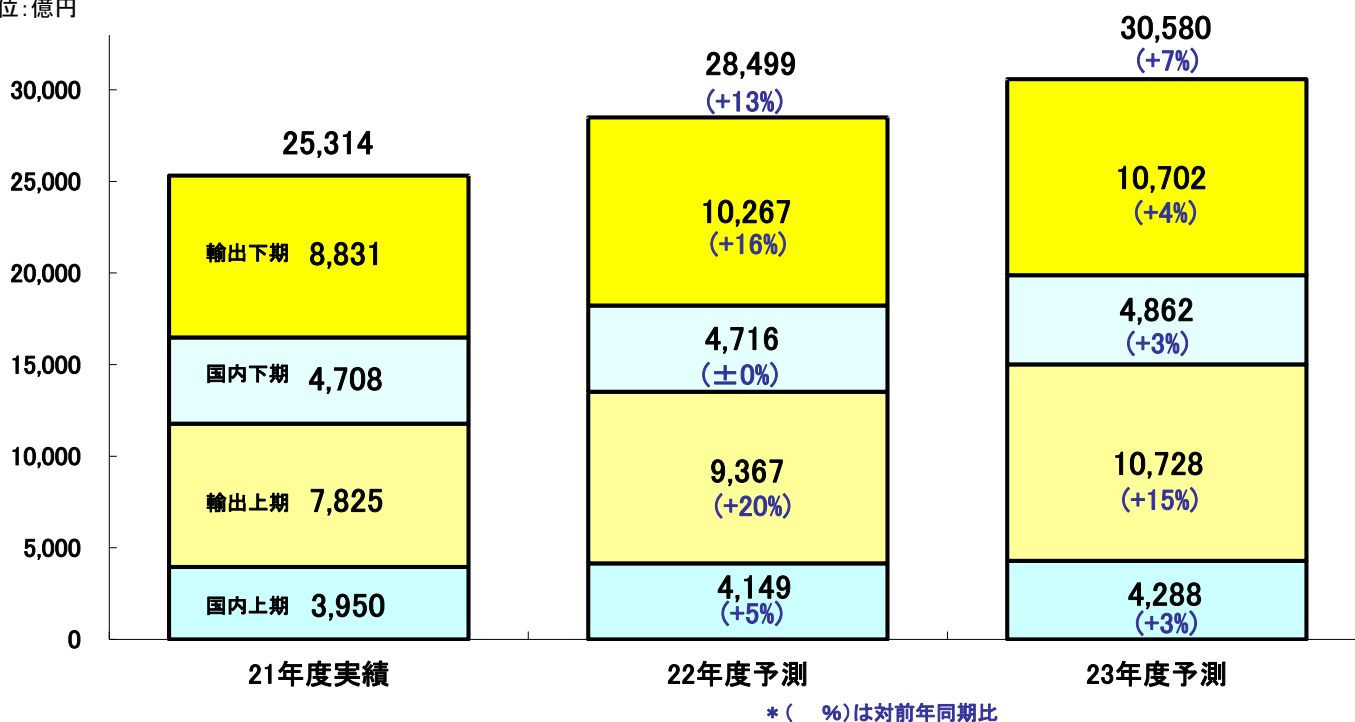
# 1. 2022、23年度の需要予測(1)出荷金額ベース



## ②半期比較

- 22年度は国内上期増加、下期堅調。輸出は上期下期ともに大幅増加。
- 23年度は国内は上期下期ともに増加、輸出は上期大幅増加、下期堅調。

単位:億円



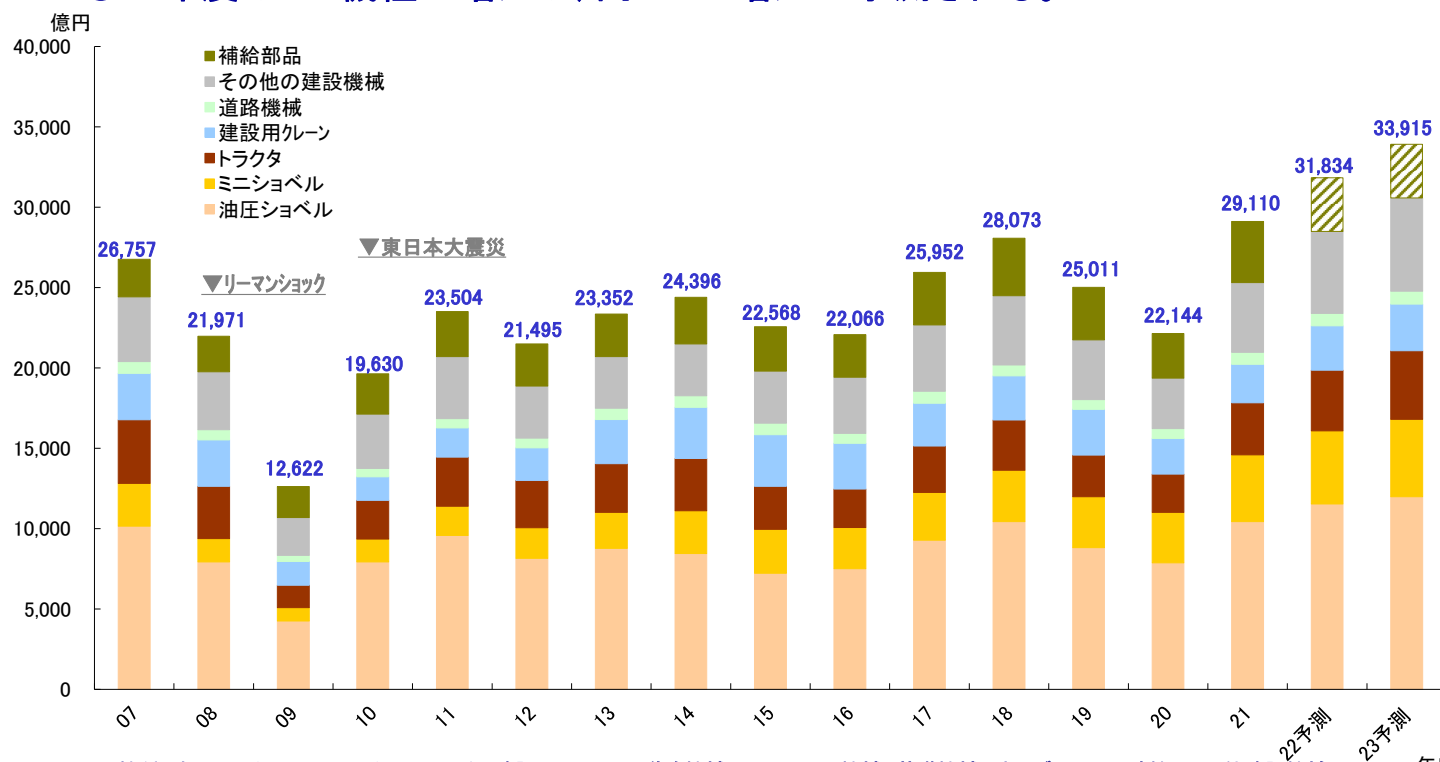
2

# 1. 2022、23年度の需要予測(1)出荷金額ベース



## ③機種別推移(補給部品を含む)

- 22年度はコンクリート機械を除き8機種が増加し、全体で9%の増加と予測。
- 23年度は全9機種が増加し、同7%の増加が予測される。



\* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧碎機、その他建設機械)の出荷金額ベース。ただし、補給部品の22年度予測および23年度予測については、過去5年間の平均額(3,335億円)とする。  
出典: 建機工自主統計

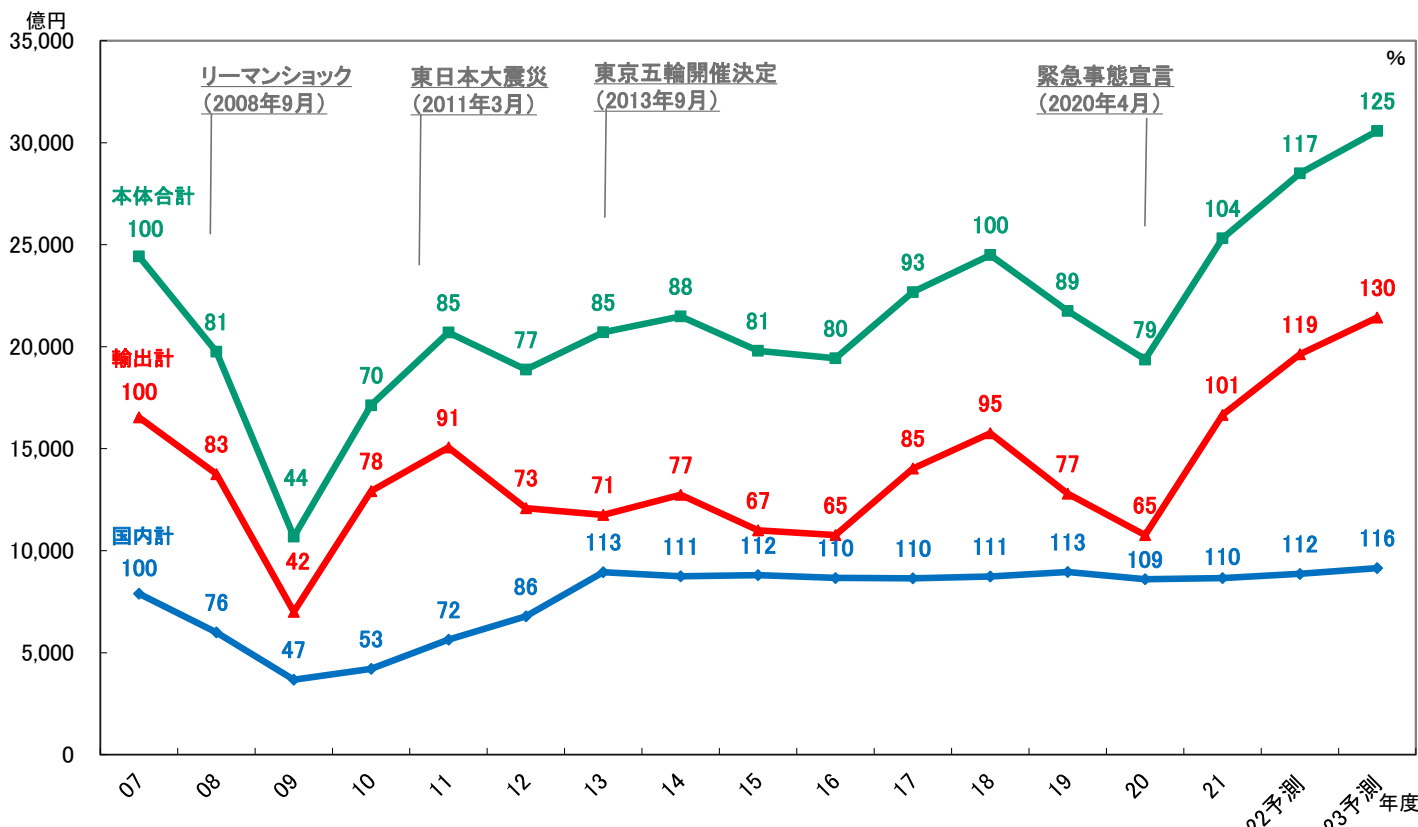
3

# 1. 2022、23年度の需要予測(1)出荷金額ベース



## ④国内・輸出別推移

○22、23年度とも、国内は引き続き堅調、輸出は続伸。



\* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧碎機、その他建設機械)の指数(2007年出荷金額を100とする)  
出典: 建機工自主統計

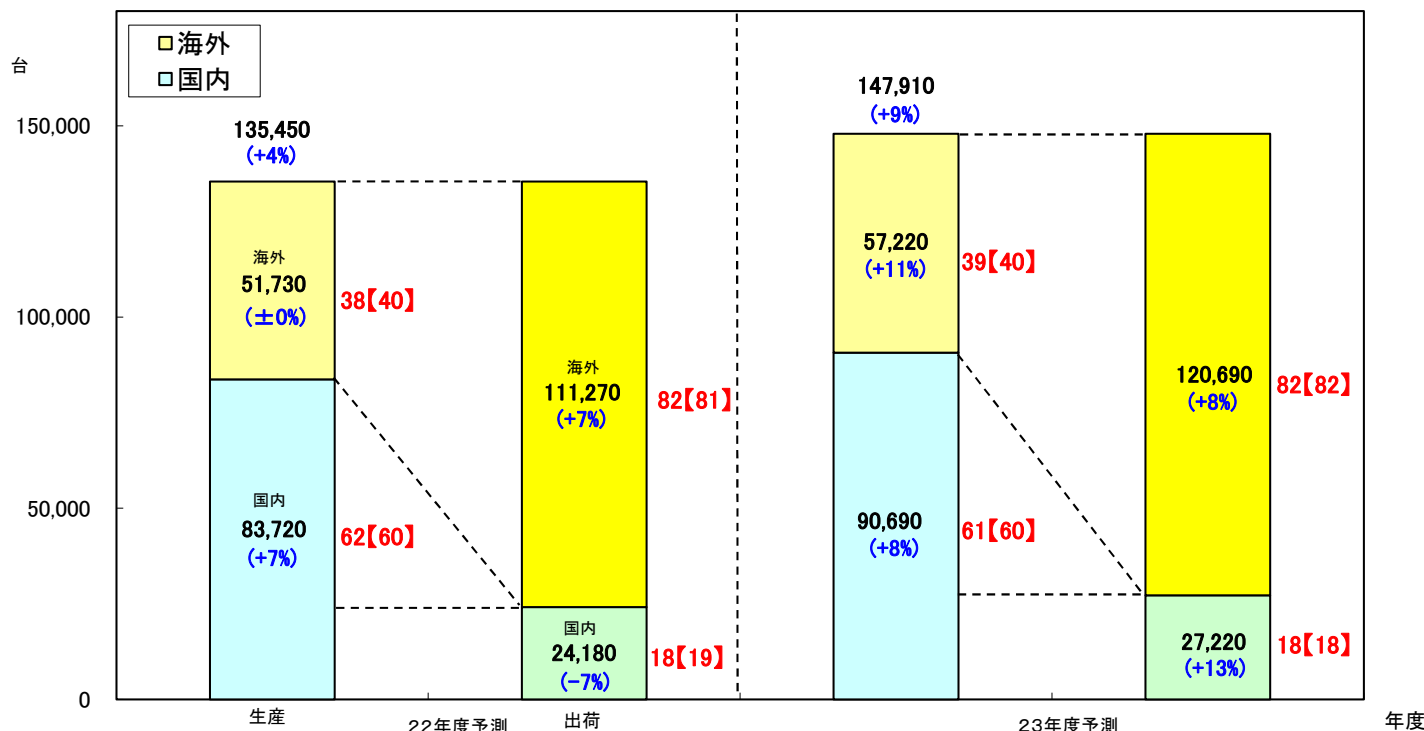
# 1. 2022、23年度の需要予測(2)台数ベース



## ①油圧ショベル

○22年度は、国内生産が増加。出荷は海外が好調。

○23年度は、国内・海外とも生産及び出荷の双方が増加。



\* 油圧ショベルの生産台数ベース  
\* 赤字は国内海外比率。【 】内は、8月時点の見通し値 ( )内は、前年度比。  
出典: 建機工調べ



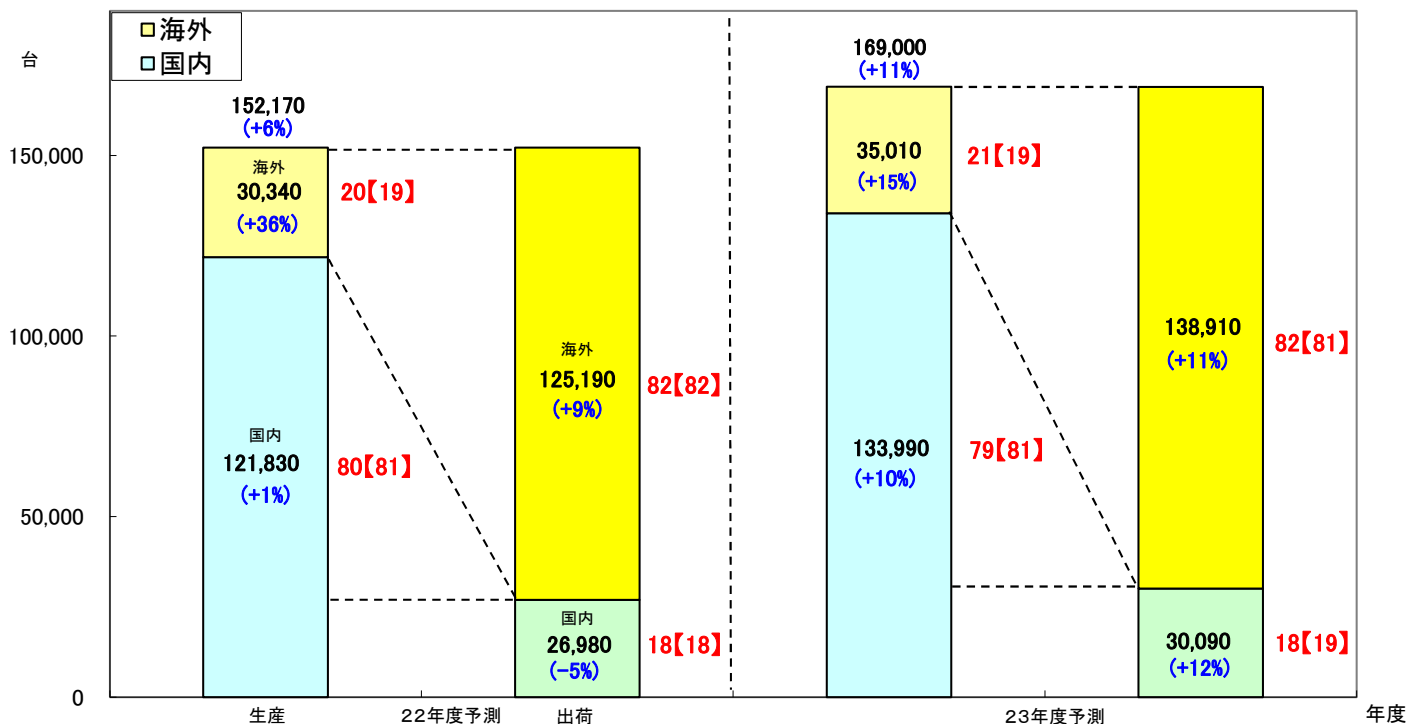
# 1. 2022、23年度の需要予測(2)台数ベース



## ②ミニショベル

○22年度は、海外生産が大幅に増加。出荷は海外が好調。

○23年度は、国内・海外ともに生産及び出荷が大きく増加。



\*ミニショベルの生産台数ベース  
 \*赤数字は国内海外比率。【 】内は、8月時点の見通し値 ( )内は、前年度比。  
 出典:建機工調べ

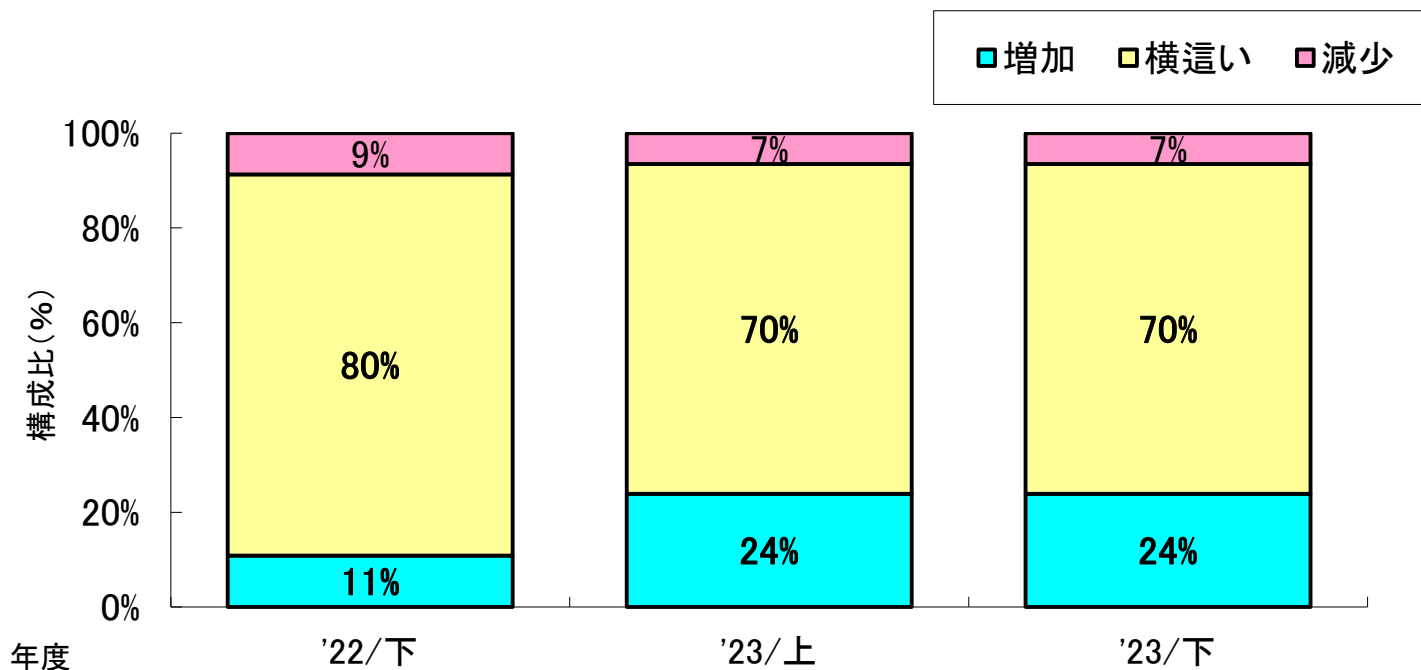
# 2. 会員の見方



## (1)国内需要予測の背景

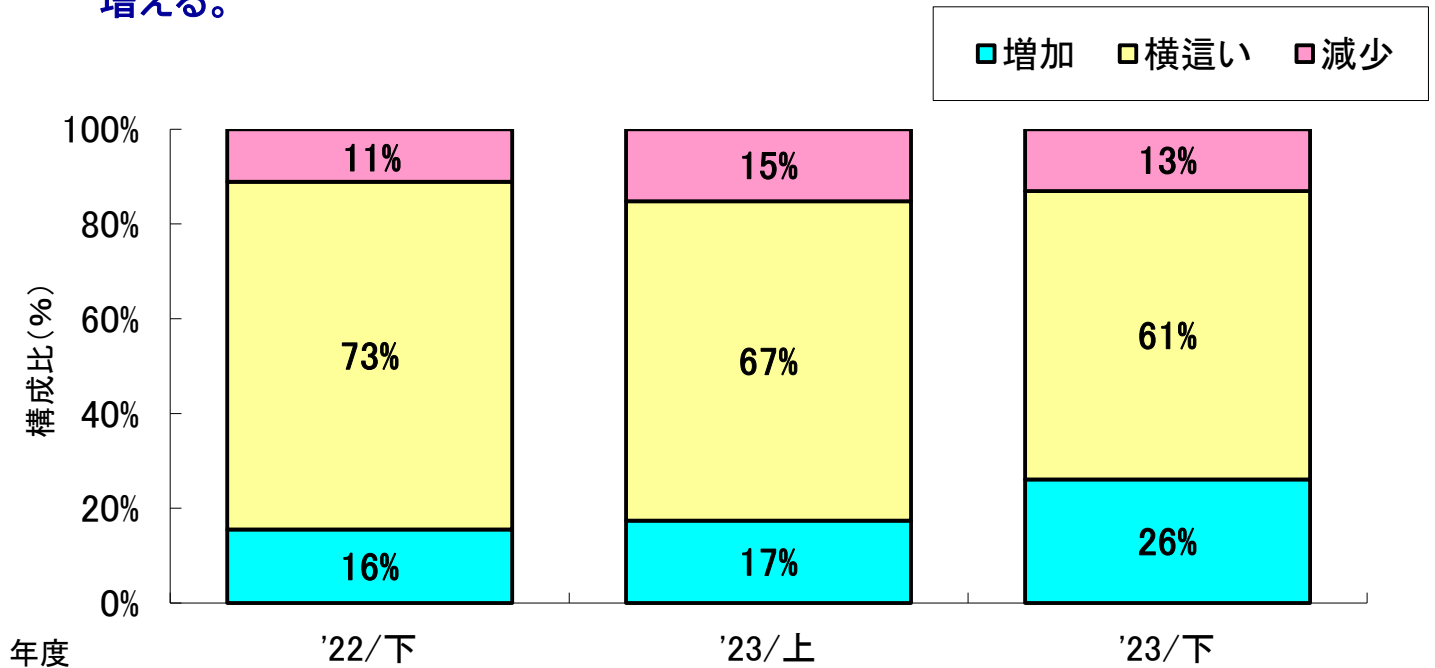
### ①公共投資

○22年度に比べ、23年度は増加の見方が増える。



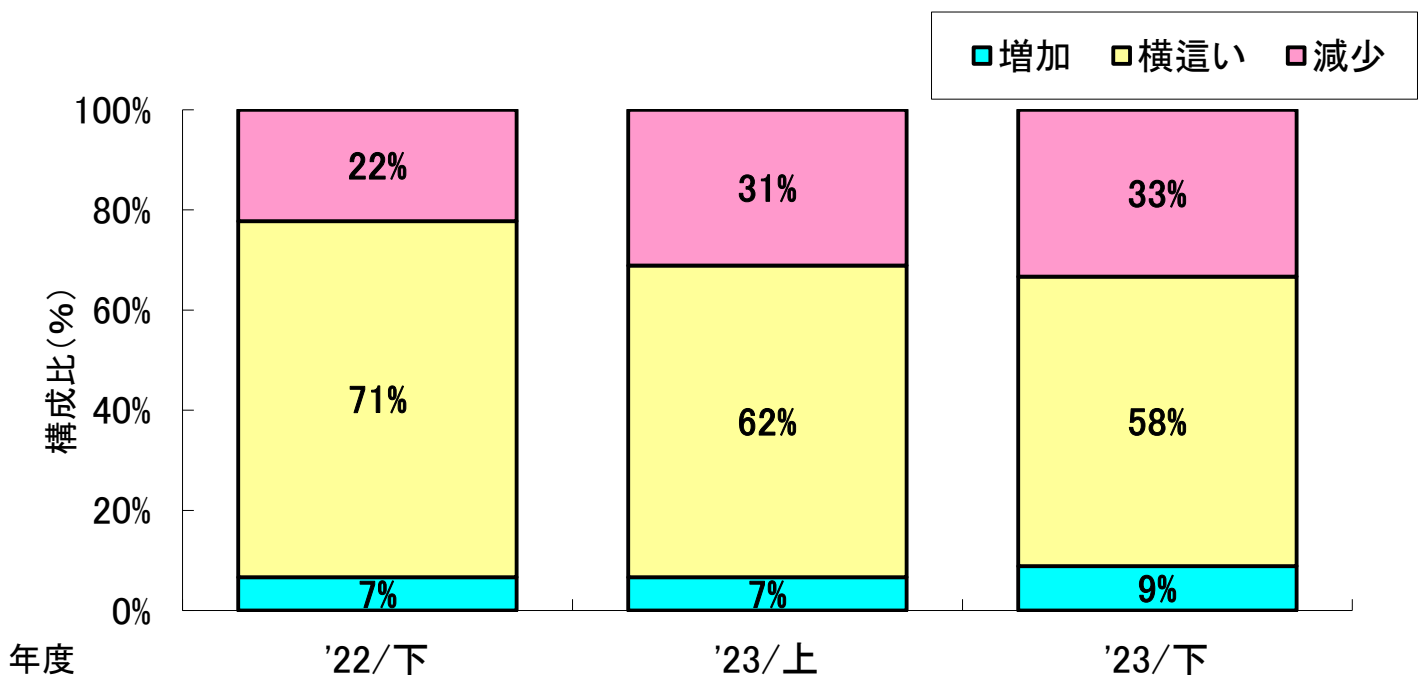
### ②民間設備投資

○22,23年度を通じて横這いが大勢を占めるが、23年度下期は増加の見方が増える。



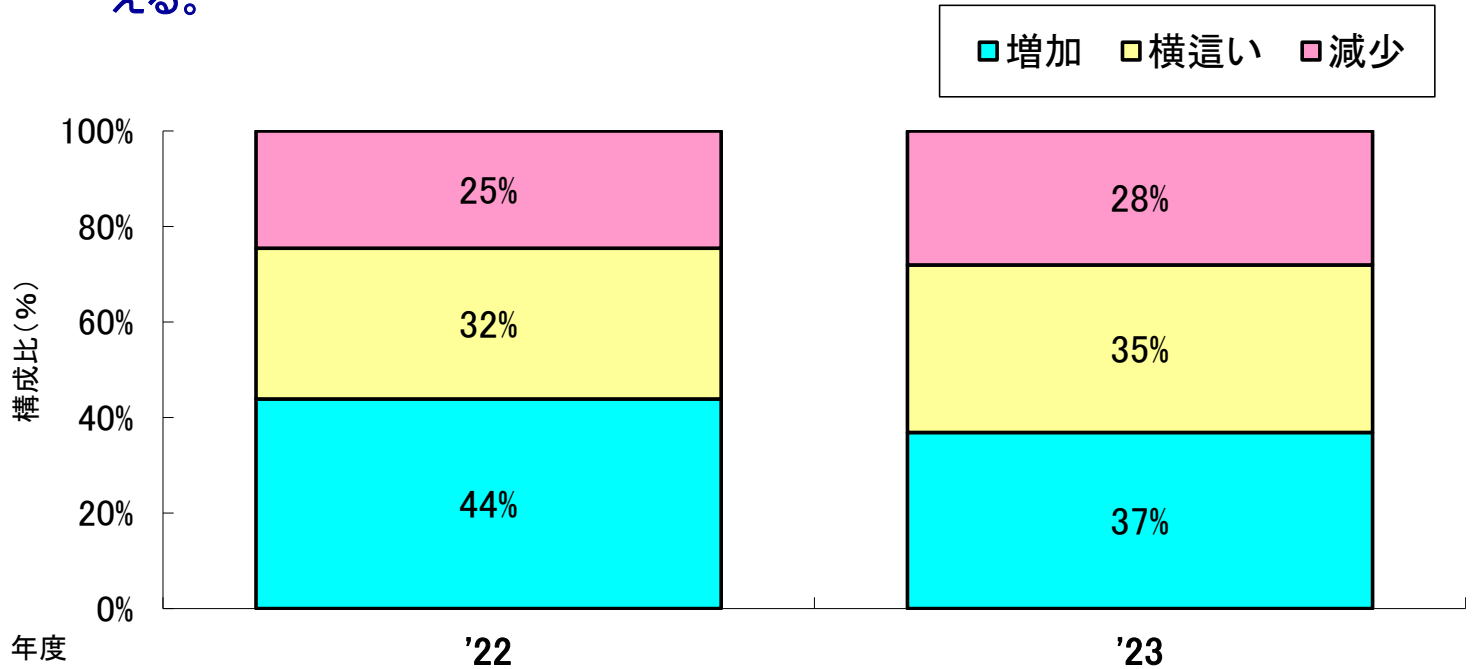
### ③住宅投資

○22年度に比べ23年度は減少の見方が増える。



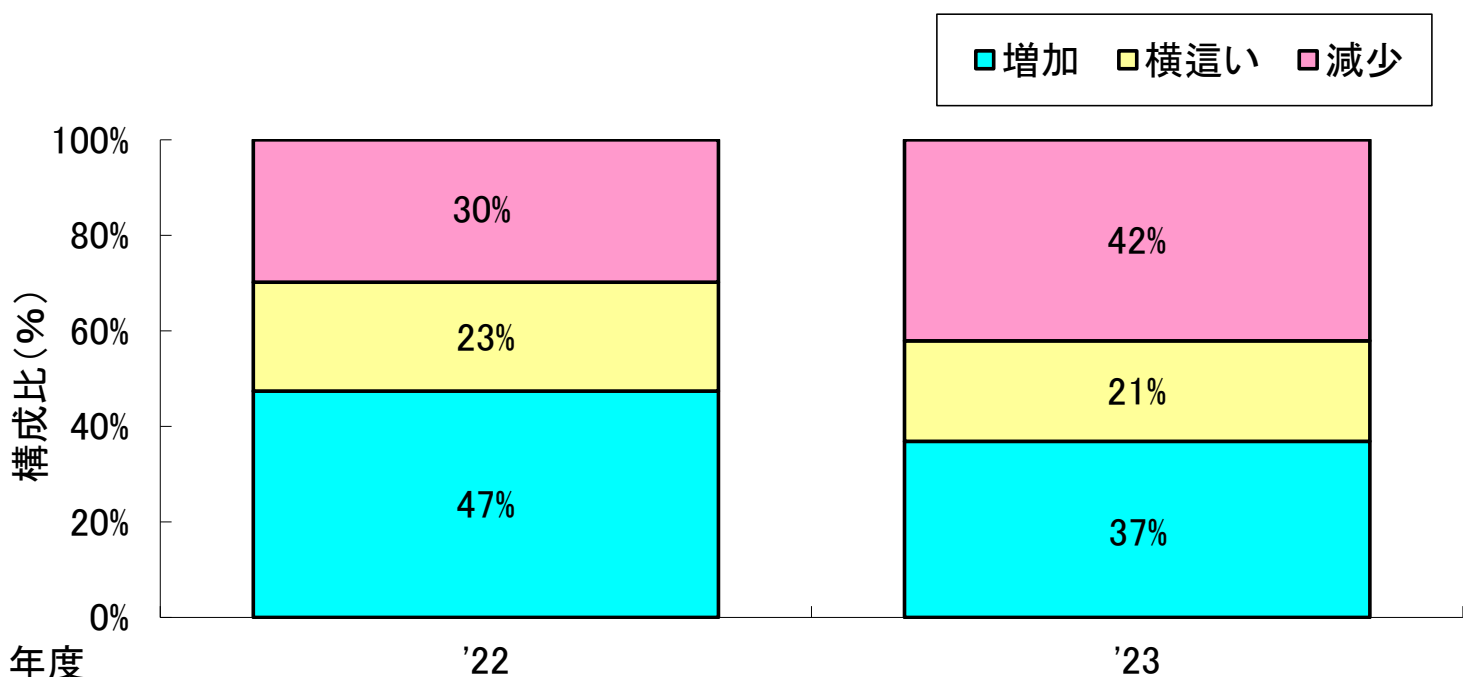
### ① 北米市場の動向

○増加の見方が依然として多いが、22年度に比べ23年は減少の見方がやや増える。



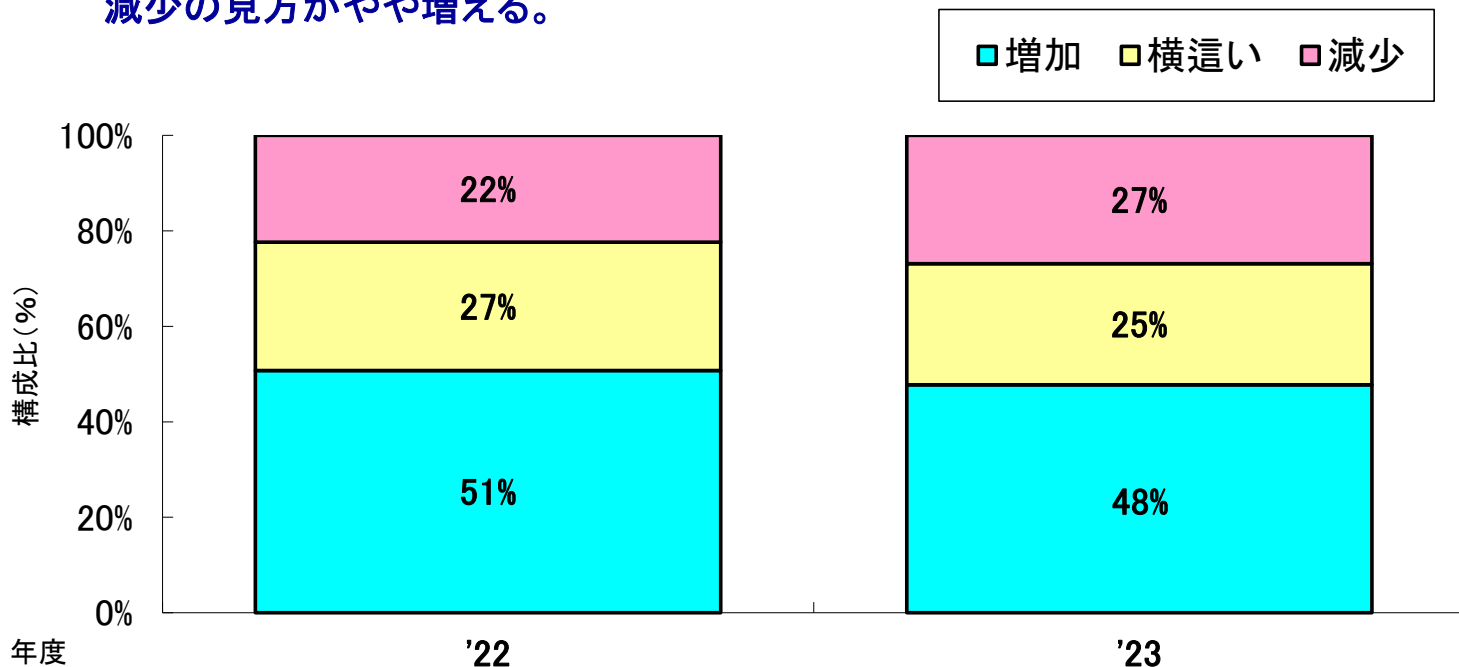
### ② 欧州市場の動向

○22年度は、増加の見方が多いが、23年度は減少の見方が増える。



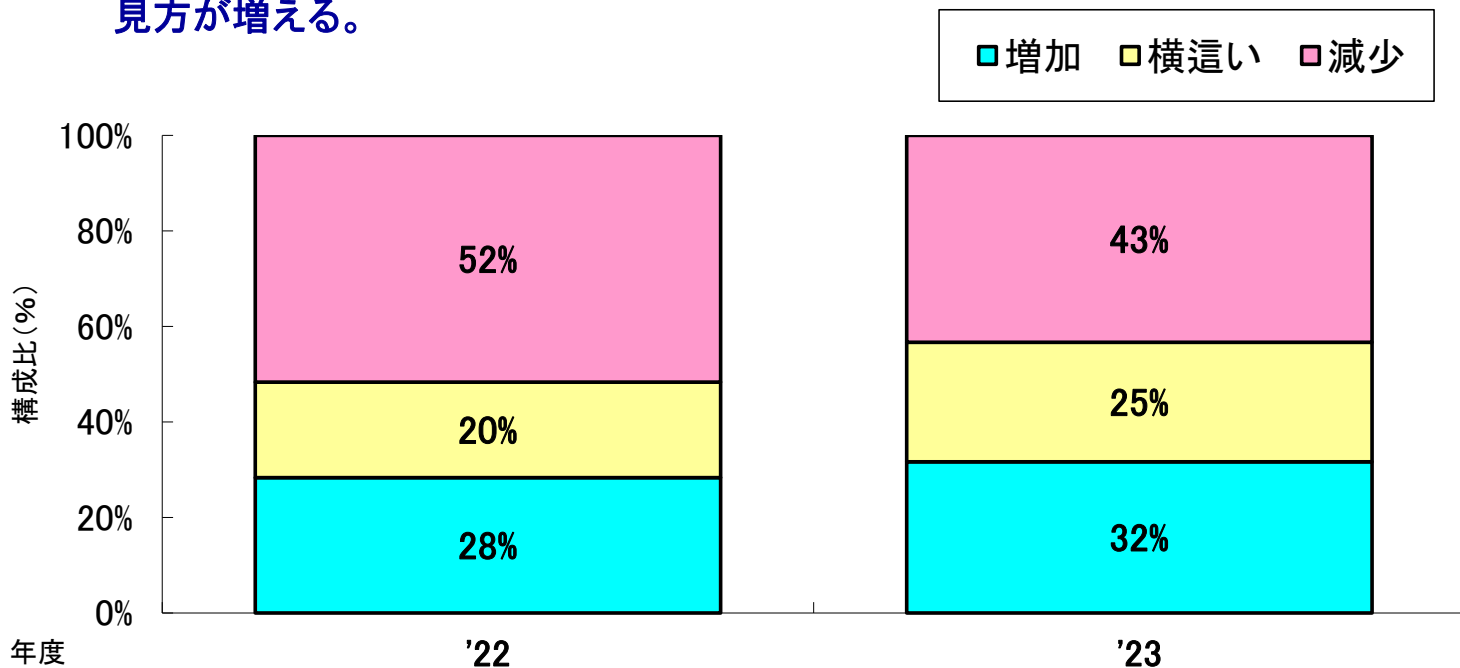
### ③中国を除くアジア市場の動向(含むオセアニア)

○22年度、23年度通じて約半数が増加と予測するが、23年度は減少の見方がやや増える。



### ④中国市場の動向

○22年度、23年度通じて約半数が減少の見方であるが、23年度は増加の見方が増える。



# 【トピックス調査】

## 需要予測に影響を与える要因

- positive要因としては、国内・海外とも公共投資、民間設備投資の影響を挙げる答が多かった。
- 一方negative要因としては、国内では部品・部材の遅延や鋼材価格・資源価格の上昇の答が多く、海外ではこれらに加え、ロシア・ウクライナ問題の影響を挙げる答が多かった。

	Positive要因						Negative要因						①⇒3, ②⇒2, ③⇒1を指数として掛け合わせ算出(赤字上位3位)			
	国内			海外			国内			海外			Positive要因		Negative要因	
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	国内	海外	国内	海外
1) 公共投資	29	13	1	20	4	3	1	1		1	1		114	71	5	5
2) 民間設備投資	12	26	5	6	17	7		2	1	1		1	93	59	5	4
3) 為替動向	2	3	12	14	5	8	5		5	3	4	9	24	60	20	26
4) 資源価格アップ		1	4	2	3	4	7	16	5	5	10	3	6	16	58	38
5) 鋼材価格アップ	1		1	1	1		11	11	15	3	6	5	4	5	70	26
6) 部品・部材遅延			2		1	1	23	10	4	14	6	6	2	3	93	60
7) 北米の利上げ			1		4	1			1	6	3	6	1	9	1	30
8) ロシア・ウクライナ問題			1	1	3	5		1	3	9	7	7	1	14	5	48
9) コロナ感染拡大			1					1	2	1	2	1	1	0	4	8
10) コンテナ不足						2				1		2	0	2	0	5
11) 物流費高騰					2	1	2	4	9		7	8	0	5	23	22
12) その他	2	1	3			2				2	1		11	2	0	8

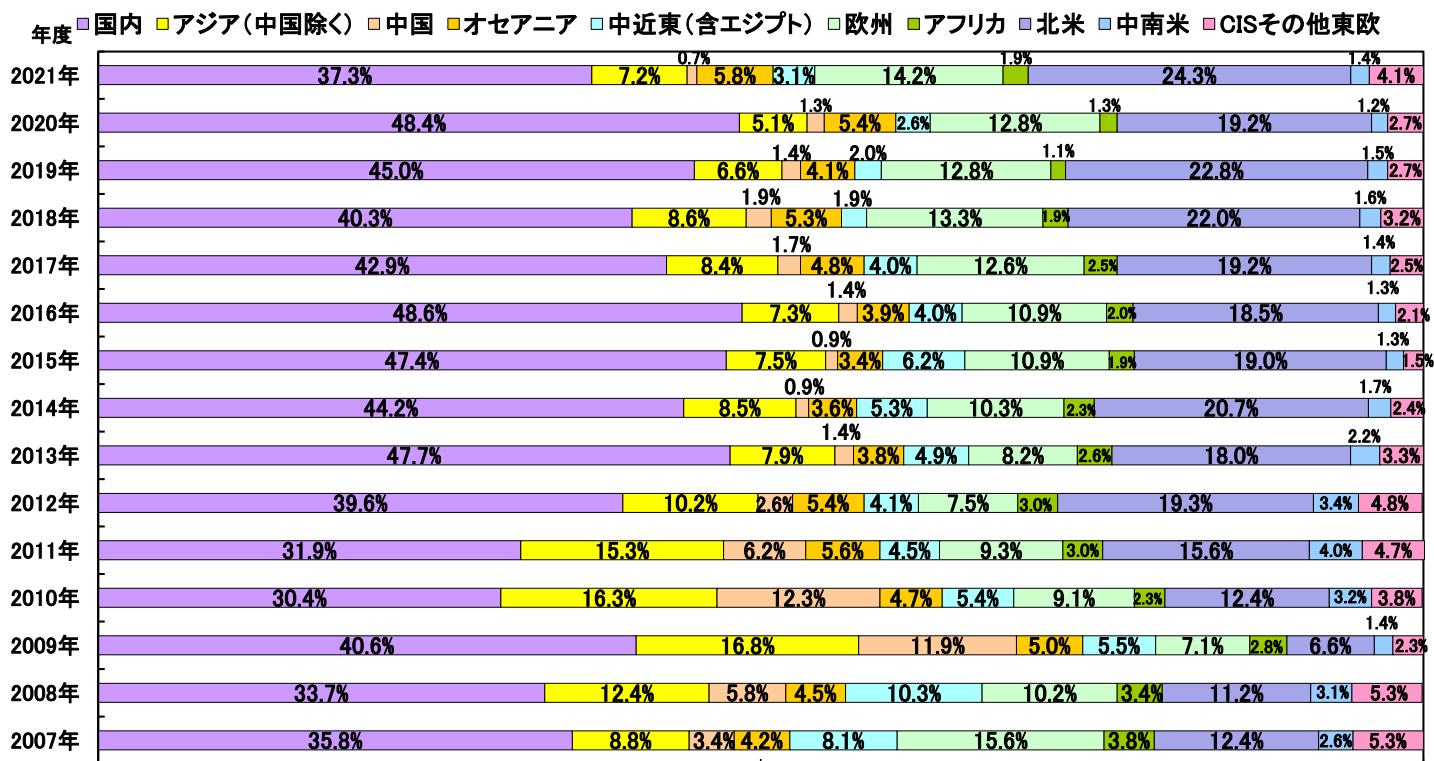
- ・今後の市況に影響があると思われる要因として、国内・海外それぞれ3つまで優先順位をつけて回答。
- ・影響があると思われる順に①、②、③とし、①を3点、②を2点、③を1点として算出。
- ・国内Positive要因の指数が高い順に並べた。

14

## 【参考数値】仕向先別出荷金額

### ①構成比推移: 2007~2021年度

○21年度に北米の割合が急増し、欧州とあわせて全体の4割近くとなった。



\* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額ベース(コンポーネント含まず)  
出典: 建機工自主統計

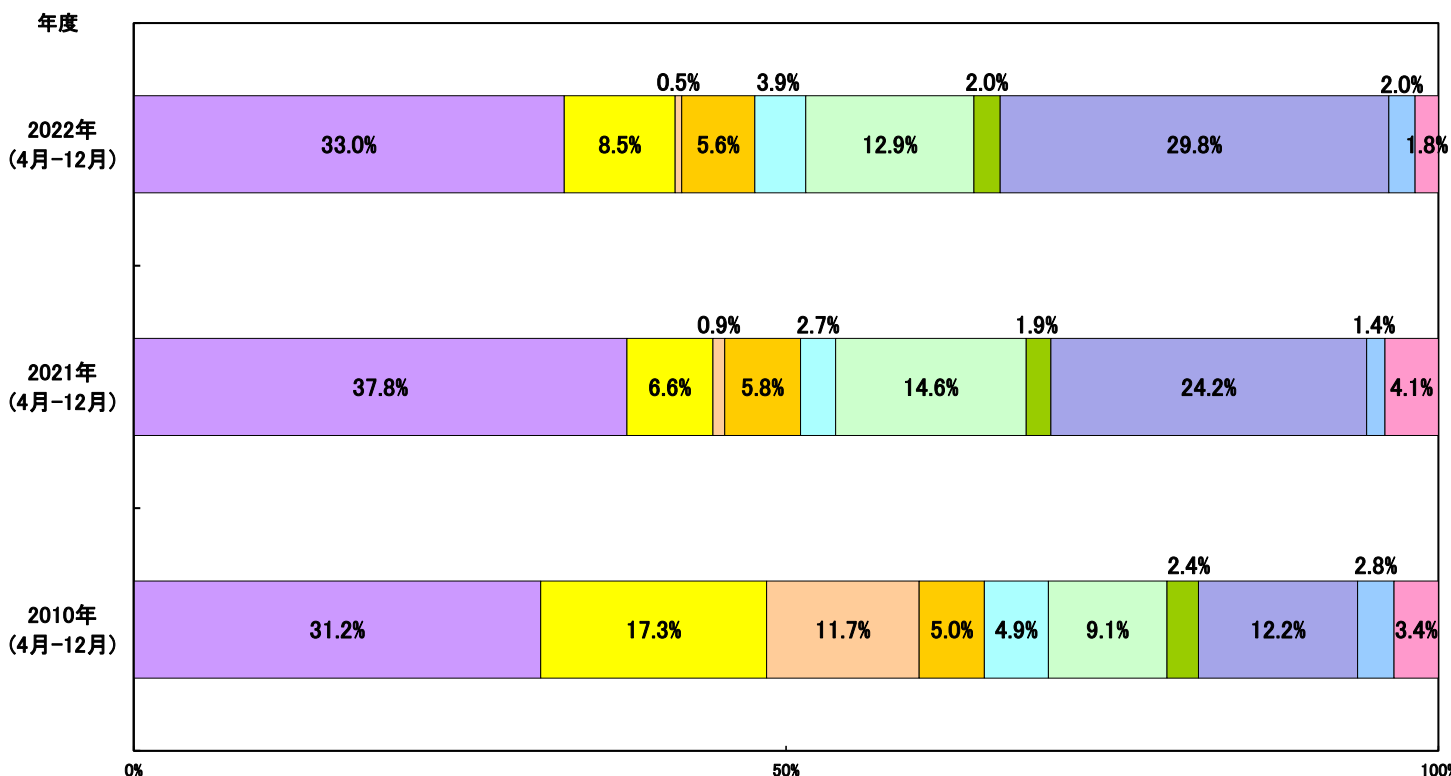
15

【参考数値】仕向先別出荷金額

②構成比推移:2022年4月~12月

○2021年度は国内比率高まるも、2022年度は北米・アジアの比率が大きく伸張。

■国内 ■アジア(中国除く) ■中国 ■オセアニア ■中近東(含エジプト) ■欧州 ■アフリカ ■北米 ■中南米 ■CISその他東欧



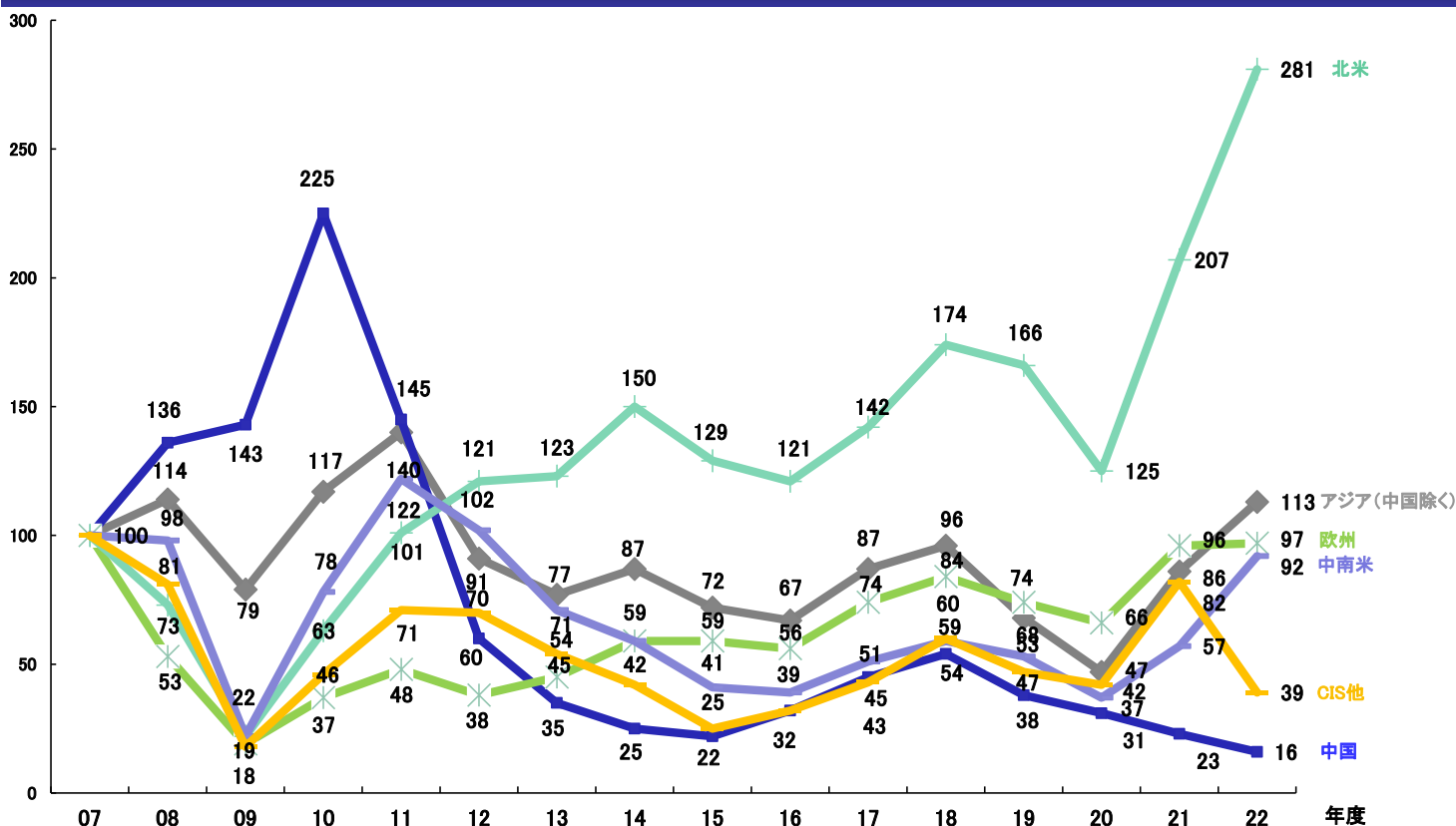
\* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレイカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額ベース(コンポーネント含まず)

\* 2010年4~12月期は中国への比率が最も高かった年度の当該期間 出典:建機工自主統計

【参考数値】仕向先別出荷金額

③2007年度を100とする指数の推移

○北米向けは大きく伸びたが、中国向け、ロシア・CIS向けは減少傾向。



\* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレイカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額の指数(2007年出荷金額を100とする)

注)2022年度は4~12月の仕向け先実績より予測 出典:建機工自主統計